

主要販路である催事販売における販売数や在庫数の迅速な把握を目指し、タブレット型POSレジを試行。効率性を考慮し、バーコードの活用も企図。

有限会社カナル				https://kamonabe.jp/	
本社所在地	雲南市加茂町岩倉1000番地20	資本金	300万円	事業概要	鴨製品の製造・販売・卸売
代表者名	高木健治	従業員数	5名		
設立年	1993年	業種	食品販売業		

背景

- 当社は鴨料理を専門に販売しているが、その販路の中でも大きなウェートを占める催事販売においては、催事場である百貨店のレジを通すため、販売数の集計等を紙で行わざるを得ない状況にある。
- 結果として販売数や在庫数のリアルなデータを活用することができておらず、販売戦略を立てづらい状況にある。
- 販売管理、在庫管理をデジタルツールを用いて行うことで、販売実績の把握だけでなく販売予測も迅速にし、販売促進に役立てたいと考えている。
- 以前に通販向けソフトを導入したことがあるが、当社の規模には合わないものであり、使いこなせなかったため、伴走支援によって適切なデジタルツールを採用したいと考えている。

計画の骨子

タブレット型POSレジの選定

- ▶ 催事販売で販売データを捕捉するためのデジタルツールとして、タブレット型POSレジを試行することとし、製品選定を行った。
- ▶ 催事会場での運用を考慮し、商品メニューをバーコード化し、それをバーコードリーダーで読み取ることで、効率的な販売業務の実現を目指すこととした。
- ▶ 『Airレジ（リクルート社）』と『ラベルプリンター QL-800（ブラザー工業社）』を選定し、試用した。

導入スケジュールの策定

- ▶ 実運用に向けて、担当者向け研修や運用テストなどのタスクをスケジュール化した。